



消火器の使い方を知っていますか？

恐ろしい火災でも、小さな火のうちには十分に消火することができます。
火災の発生に気付いたら、初期段階の消火を行い、被害を最小限に抑えましょう。

◆消火器の種類

消火器には様々なタイプがありますが、代表的なものでは、粉末を放出するものと消火液を放出するものがあります。大きさもいくつかあり、消火能力と関係しています。しかし、大きな消火器は重く、高齢者や女性には使いにくい場合があります。住宅用消火器は、軽量でホースがないものもあり、赤色だけでなくカラフルなものがあります。

<住宅用消火器の適応表示>



家族を守る
住宅用防災機器等



◀様々な種類の消火器

◆消火器の使い方

消火器は非常に簡単な操作で使用できます。大まかには3動作で放射します。

消火器の操作手順



- ・消火器は炎ではなく、火元をねらって放射しましょう。
- ・放射の勢いで炎の吹き返しがありますので、姿勢を低くしましょう。
- ・てんぷら鍋などに放射するときは、鍋がひっくり返らないように注意して放射しましょう。
- ・火元からは1.5～2m離れて放射しましょう。
- ・消火器で消火できる目安は、炎が天井に移るまでです。炎が天井に移ったら早期に避難しましょう。

◆消火器の注意事項

消火器は安全に使用できるよう作られていますが、より安全に使用するために次のことに注意しましょう。

- ・消火器の噴射は勢いがあるのでしっかり力を入れて持ちましょう。
- ・消火器の有効期限は5年や8年など消火器により若干異なります。手持ちの消火器をしっかり確認して適切に取り替えましょう。
- ・屋外へ設置する場合はケースへ入れましょう。そのまま放置すると容器の腐食などが生じて大変危険です。
- ・容器の腐食した消火器は、爆発などの危険があるため絶対に使用しないでください。また、容器の底の部分などにも腐食が生じますので、しっかり確認しましょう。腐食が生じた場合は、購入先か防災設備業者に相談し、確実に廃棄してください。



▲底が腐食した消火器